版/面

学

4 面

術

聞

w 学 び Ø かたち

「九州の大学で英語力を高めるには崇城大学に行くのが一番の近道」と 言われるようになった。原動力となったのが、崇城大学(中山峰男理事 言われるようになった。原動力となったのが、崇城大学(宮内孝久学 長、千葉市美浜区)と英語教育に関する大学間連携を締結、神田外語大の 英語教育を導入、2010年、グローバル人材を育成するために、学内留 学家を体感できるSILC設けた。16年の熊本地震で被災、約2年間、 学習環境を学内に分散し、教育を行ってきたが、18年4月、新しいSIL Cが完成。SILC設立から9年間で、学生の英語力は徐々にアップし、 アイロットを養成する工学部字宙航空システム工学科航空操縦学専攻から は次々にパイロットが誕生するなど成果を上げている。SILCの「新し い学びのかたち」をSILC担当者に聞いた。

第2777号



(昭和30年3月28日第三禮郵便物認可)

しく学べる場で、自律学 修をサポートする。全学 科の総合教育科目「英 語」の授業はことで行 う。専任のラーニングア ドバイザーとよばれる教 員が常駐、英語学習に関 する悩みや質問に答えた 学修支援も行う。 学生の学習計画を一 S-F-LCは、英語を楽 の子上では、英語を楽 がる。 多くの学生に、 そ

山理事長の『地方の理系 設けたねらいから。「中 設けたねらいから。「中 今回の取材には、ジョ 今回の取材には、ジョ 大事務局でSILC担当 の大田黒佳子さんの2人 が応じてくれた。(以下 の「」の発言は、(大田 黒)とある大田黒佳子さ まず、「SI」 どこも英語教育 教授の発 に崇城大学教授となっ

行事で使われています」

(大田惠)

教

たいうことはビジネスの ということはビジネスの ということはビジネスの

新SI

大 学 て熊本空港内にキャンパ

城

年、実学を掲げ、地域と を大学(工学部の単科) として開学。76年、構造 として開学。76年、構造 として開学。76年、構造 として開学。76年、構造 を増設。航空整備士養成やパスを開 を変表キャンパスを開 を変表を開け、地域と

一にイメージできたこと 学と、カリキュラムに具体 性があり、学生が伸びる っという確信が持てたこと はどです」(大田県) 神田外語大からは、特 一にイメージできてこと は、教員、教材、学習環 下法、教員、教材、学習環 下法、教員、教材、学習環 下法、教員、教材、学習環 下さ、教員、教材、学習環 を 年間の連携協定終結を機 が、ローベリー教授。5 が、ローベリー教授。5 した成果と効果が具体的 を導入したのは、「学生 を導入したのは、「学生 が、というでは、「学生 実現しました」(大田県) い』という熱い思いからの可能性を広げてやりた 学生の英語力徐々に上昇

新

生には迷惑をかけました。 で、復旧には約2年がか で、復旧には約2年がか で、復旧には約2年がか LCは、20 以前の

修センターSAIC (サルルク: Self - Access (ルルク: Self - Access (ルー・スに応えるため、レーニーズに応えるため、レーニーズに応えるため、レーベルに合った英語を学べ 大田黒) スを整えています」 与につけるためのサービ に親しませ、自分もでき 等になった英語を学べ 行い、クラス分けをしま ますので、『テスト対策 黒りルに合った英語を学べ 行い、クラス分けをしま ますので、『テスト対策 黒りルに合った英語を学べ 行い、クラス分けをしま ますので、『テスト対策 黒りルに合った英語を学べ 行い、クラス分けをしま ますので、『テスト対策 黒りルに合った英語を学べ 行い、クラス分けをしま ますので、『テスト対策 黒りの使えない英語を学べ 行い、クラス分けをしま ますので、『テスト対策 黒りの使えない英語を学べ 行い、クラス分けをしま ますので、『テスト対策 黒りの使えない英語』でなく のでえない英語』でなく のでえない英語』でなく のでえない英語』でなく のでえない英語』でなく のでえない英語』でなく のでえない英語』でなく のでえない英語』でなく のでえない英語』でなく のでえない英語』でなく のできるため、レ 入学後、英語のテストを く・話す・書く力を磨き 生まりので、『テスト対策 黒りから できるためのサービ に親しませ、自分もでき 等に ガラス張りのモダンな新しいい

0

V

ローベリー教授(石)と大田黒さん(左)質問に丁寧に答えてくれたジョン・

令和元年8月7日(水曜日)

水本を断行、アグローバ 大が海外との仕事に関わ 大が海外との仕事に関わ 大が海外との仕事に関わ 大が海外との仕事に関わ 大が海外との仕事に関わ 大が海外との仕事に関わ 大学として英語 大学として英語

央 SALCは、「授業だけでなく、もっと英語をはでなく、もっと英語をはかれたい」「夏休みに対したい」「夏休みに対したい」など、1人ひともりのニーズに応えるため、豊富な英語の教材をある。学生の疑問している。学生の疑問している。学生の疑問している。学生の疑問している。学生の疑問している。学生の疑問している。学生の疑問している。学生の疑問している。学生の疑問している。学生の疑問している。学生の疑問している。 語』を修得することがで でが、17年の「第6回学生でが、17年の「第6回学生の文部科学大臣賞の受にコンテスト」で最優秀賞にコンテスト」で最優秀賞にコンテスト」で最優秀賞にガンテスト」で最優秀賞に登らん(生物生命学部)、と後藤みどりさん(同)、とない、17年の「第6回学生にチャン・テイ・ジウ・ヒたチャンさん(工学部)の3

全国学生英語ジで文科大臣賞 「海外での学会の発表」「海外での学会の発表」「海外での学会の発表」とも結構います。3・学生も結構います。3・学生も結構います。5・学生も結構います」(大田・学生も結構います」(大田・学生も結構います) 等にはラーニングアドバ と販売」をテーマにプレゼンした。このアイデアへは、古賀さんらが、大学公認の部活動「起業部」会認の部活動「起業部」会認の部活動「起業部」を立ち上げ、社・ i amoを立ち上げ、社・ i を務めている。

1人の頂点に立った。 「彼女たち3人は、自分」 「彼女たち3人は、自分」 を英語できちんと伝える。 ことができたのが評価されました。英語の流暢されました。英語の流暢されたが、外国語学部ももいたが、外国語学部ももいたが、外国語学部ももいたが、外国語学部ももいたが、外国語学部ももいたが、外国語学部ももいたが、外国語学部ももいたが、外国語学部ももいたが、外国語学部ももいたが、外国語学部ももいたが、外国語学部もいたが、外国語学部もいたが、外国語学部ももいたが、外国語学部ももいたが、外国語学部ももいたが、外国語学部ももいたが、外国語学部ももいたが、外国語学部を表

年

SI

、その成果のひとつ SILCができて9

愚

「3人は、受賞後、S ILCの活用が決め手に なったとか、SILCの

中山峰男学長に聞く



グロ 1 バ ル 化で英語力不可欠

ング能力が必要と考え、 ング能力が必要と考え、 のました。

- 8110 - 8110 - 8110 - 8110 - 8110 - 201 -

もき、学生ためへより良い を受けている。 を対の想いから、設計や内装 などにもSILCの外国 人講師の意見を全面的に というのが、というである。 というでは、一人では、一人では、一人では、 というでは、一人では、 というでは、 をいうでは、 というでは、 とのがは、 と き、学生たちへより良い ものは。 ものは。 かったいと思った。受賞チレトップ50には毎年入っていたが、初参加から6年をいたが、初参加から6年をいたが、初参加から6年をにいたが、更に教育に力を入っている。一人の『ciamo』は2 起業を目指す学生部活動と、可能性を持つ若者の力に感じた。『ciamo』は2 起業を目指す学生部活動と1人の記奏部に所属、後輩たたの起奏部に所属、後輩たたの起奏部に所属、後輩たたっています」

た。また新たにカフェを 設置するなど、開放的で くコミュニケーションで くコミュニケーションで を使って世界中で活躍し ではしい」 一今後のSILCや英語 とは。いて考えている ことは。

「今年度は外国人留学生 79人が学内で日本人学生 2ともに学んでいる。また3年ほど前から日本人学生の海外留学が活発に なってきており、学生た ちの意識の変化を感じ る。海外への留学は昨年 を上回り300人を超え るだろう。目標は400 人。その頃には、S11 いてもグローバルな雰囲 いてもグローバルな雰囲

先生方に全面的にサポートしてもらい万全の準備ができた、とSILCの担当として、こんなにうれしいことあり

2019年、安達航人さん (兄) は金日本空嘛株式会社 (ANA) に、雄式会社 (ANA) に、雄大さん (弟) は日本航空 続々と誕生するパイロ

越えた末の合格は立派で 臓していました。熊本地 強していました。熊本地 生として就職した。 す(大黒) も英語は重要。 2人とも

七のこれから。

教授は流暢

それぞれパイロット訓練株式会社 (JAL) に、

「国際交流センターとコ ラボして日本から無外に 留学する学生を増やする とに力を入れたい。ま とに力を入れるなどの交 学で受け入れるなどの交 がプログラムもやってみ たい。キャンパスに日本 人と海外の留学生が溢れ るような大学になるよ